

セミナー① 8/6 (木) 16:00~16:50

女性研究者のリアル研究ライフ I

近藤 寛子

北見工業大学工学部・准教授

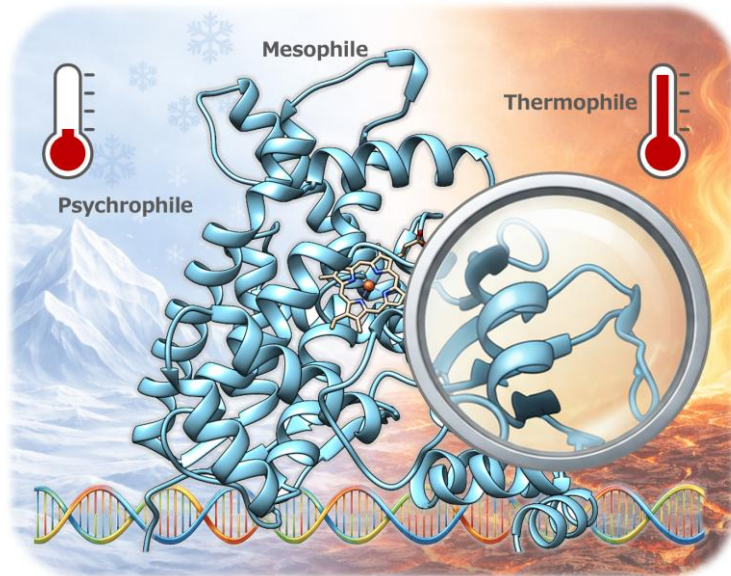


講演内容(伝えたいこと)

このセミナーで伝えたいのは“研究の魅力”です。私はタンパク質の構造と機能の相関を研究していますが、目に見えない分子のかたちが生命のはたらきを左右している、その精緻さと奥深さに何度も心を動かされてきました。しかし研究はすぐに答えが出るものではありません。仮説が外れたり、解析が思うように進まなかったり、成果が見えない時間が長く続くこともあります。それでも問いを手放さず、支えてくれる方々や助成の力を得て、根気強く前に進んでいく。その積み重ねが未来の科学や産業を形づくっていくと信じています。

研究は新しい知を生み出す過程ですが、長い時間をかけて社会と知をつなぐ営みでもあります。

好きなことに本気で向き合う生き方の一つとして研究者という道があることを次世代の皆さんに伝えたいと思います。



研究テーマ

低温環境に適応したヘムタンパク質の構造特性の解明
(2025年度)

概要

ヘムタンパク質は細菌から動物や植物まであらゆる生物に存在し、広範な生命機能を担っていることから、ヘムタンパク質の機能発現機構の解明は生物学において重要な課題の一つである。低温環境に生息する魚類や細菌のヘムタンパク質は、低温環境に適応するために進化の過程で独自の機能や分子特性を獲得していると考えられている。本研究では複数のヘムタンパク質の配列、構造、動態を解析することにより、低温環境への適応に必要な構造特性を抽出することを目標とする。

PROFILE

<https://hanadasearch.office.kitami-it.ac.jp/searchja/show/id/1327>